

「伊丹市交通事業経営戦略」の進捗状況等の公表について

投資・財政計画に対する令和元年度の実績を報告いたします。

1. 収益的収支

(単位:千円)

区 分		年 度	元年度		増減額
			計画	決算	
経 常 収 支	経 常 収 益	営 業 収 益	2,090,093	2,060,872	△ 29,221
		営 業 外 収 益	283,208	252,088	△ 31,120
		収 入 計	2,373,301	2,312,960	△ 60,341
	経 常 費 用	営 業 費 用	2,335,156	2,300,962	△ 34,194
		営 業 外 費 用	7,733	5,938	△ 1,795
		支 出 計	2,342,889	2,306,900	△ 35,989
特 別 損 失			3,300	5,672	2,372
単 年 度 純 利 益			27,112	388	△ 26,724
累 積 欠 損 金			△ 352,181	△ 401,454	△ 49,273
年 度 末 資 金 過 不 足 額 ※			1,195,885	977,651	△ 218,234

※年度末資金過不足額＝流動資産－（流動負債－翌年度償還予定企業債元金）

○ 経常収益

(1) 営業収益

乗合旅客運賃収入が予定を約33,000千円下回ったことから、合計では計画に比して29,221千円の減少となりました。

(2) 営業外収益

自動車の任意保険にあたる市有物件災害共済を総合契約に見直したことで事故賠償等に対する共済金が約18,000千円、市営バス路線維持補助金ほかの一般会計補助金が約9,000千円予定を下回ったこと等から、合計では計画に比して31,120千円の減少となりました。

○ 経常費用

(1) 営業費用

軽油単価が想定より14.8%高騰し、燃料費が予定を約16,000千円上回ったものの、資産取得時期のずれにより減価償却費が約52,000千円、修繕費が約10,000千円予定を下回ったこと等により、合計では計画に比して34,194千円の減少となりました。

(2) 営業外費用

支払利息が予定を下回ったこと等により、合計では計画に比して1,795千円の減少となりました。

○ 単年度純利益

計画では27,112千円を見込んでいましたが、決算は388千円となり、計画を下回ることとなりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、年度末にかけて乗合旅客運賃収入が減少したことも影響しています。

2. 資本的収支

(単位:千円)

区 分	年 度	元 年 度		増減額
		計 画	決 算	
資 本 的 収 入		260,550	725,279	464,729
資 本 的 支 出		379,730	937,906	558,176
収 支 不 足 額		△ 119,180	△ 212,627	△ 93,447
補てん財源	消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	23,468	63,162	39,694
	損 益 勘 定 留 保 資 金	95,712	149,465	53,753

※決算額には、前年度からの繰越予算の執行分として以下の金額を含んでいる。

・資本的収入	406,000
・資本的支出	421,132

○ 資本的収入

前年度からの繰越事業である局庁舎保全事業(局庁舎大規模改修工事)に係る企業債の借入れが406,000千円含まれていることもあり、計画を大きく上回りました。

○ 資本的支出

局庁舎保全事業(耐震補強大規模改修工事)を前年度から繰り越して実施したこと、全国相互利用サービス対応バスICカードシステム構築事業(ICカードシステム後方支援機器更新・運賃収受機更新)の事業費が増加したこと等により、計画を大きく上回りました。